

## (4) 年間事業計画

### 人財資質向上委員会 年間事業計画

担当 ひとづくり 委員会 人財資質向上委員会 委員長 井尾 泰隆 副委員長 新川 聖平 委員 川瀬 英三朗 杉江 拓弥	・ 林田 丈祐 ・ 北村 光 ・ 山田 邦晶	基本方針  地域の将来を担う人財に対し成長の機会を提供し、会員や地域住民一人ひとりの資質向上に寄与する。
--	------------------------------	--

#### 委員長方針

大垣青年会議所に求められる役割として、「ひとづくり」はその最たるものと考えられます。我々大垣青年会議所会員は、現役期間も卒業後も、自己研鑽に励み、品格ある経済人であり続け、リーダーシップを発揮し地域の活性化に貢献していかなければなりません。それは、この地域で生きる私たち会員の務めです。

しかし、我々だけの頑張りでは地域は変えられません。会員自身が成長して自己の資質を高めるだけではなく、会員と地域の将来を担う多くの人財とが相互に良い影響を与え合いながら共に成長すること、これこそが「ひとづくり」として我々に課せられた担いです。会の内外を問わず、大垣青年会議所に関わる一人ひとりの資質向上に取り組んで参ります。

#### <事業計画及び予算>

- 事業名 4月度例会の企画・運営

目的 地域の将来を担う人財に対し、様々な分野の知識を深めて頂き、西美濃地域活性化の契機とする。

予定と方法 (1) 4月  
(2) 種別・公益事業(公1)

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	200,000	一般会計	200,000
合計	200,000	合計	200,000
- 事業名 7月度例会の企画・運営

目的 将来を担う子どもたちに社会の仕組みに関する知識を深めて頂くことで、子どもたちの資質の向上に寄与する。

予定と方法 (1) 7月  
(2) 種別・公益事業(公3)

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	200,000	一般会計	200,000
合計	200,000	合計	200,000
- 事業名 11月度例会の運営

目的 新入会員による交流会に参加・協力することで、会員同士の絆を深める。

予定と方法 (1) 11月  
(2) 新入会員による交流会への参加・協力
- 事業名 新入会員の指導

目的 新入会員に対し、地域社会の活性化に貢献できる人財となるよう、青年会議所の事業を通じて指導を行う。

予定と方法 (1) 1月～12月  
(2) 新入会員研修の実施(4回)  
(3) 新年互礼会アトラクションへのフォロー及び指導  
(4) 理事会へのオブザーブ出席(2～6月、5回)  
(5) 3分間スピーチの実施(2～6月、5回)

- (6) JCI日本の事業への参加促進及び指導  
 JCI日本 京都会議(1月) 京都  
 岐阜BC 岐阜会議(2月) 岐阜  
 JCI ASPAC(5月) インドネシア/ジャカルタ  
 岐阜ブロックアカデミー2023(6月) 飛騨  
 JCI日本 サマーコンファレンス(7月) 横浜  
 東海DC 東海フォーラム(7月) 静岡  
 岐阜BC 岐阜ブロック大会(9月) 可児  
 JCI日本 全国大会(10月) 東京  
 JCI JCI世界会議(11月) スイス/チューリッヒ  
 その他
- (7) 種別・その他の事業

予 算	<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	150,000	一般会計	150,000
	合計	150,000	合計	150,000

- 5. 事業名 新入会員による交流会の企画・運営に対する指導  
 目 的 青年会議所での学びを活かし、新入会員が一丸となって交流会を企画・運営することで、今後の大垣青年会議所を担う人財となるよう指導する。  
 予定と方法 (1) 5月～12月  
 (2) 議案作成及び議案上程セミナーの実施  
 (3) 模擬正副理事長会議、模擬常任理事会、模擬理事会の実施  
 (4) 事業実施準備及び事業報告の指導
- 6. 事業名 SDGsの推進  
 予定と方法 (1) その他
- 7. 事業名 各委員会との連携  
 予定と方法 (1) その他

組織力創造委員会 年間事業計画

担当 委員会	ひとつぐり 組織力創造委員会
委員長	高田 晃裕
副委員長	太田 佳祐
委員	野田 正興 山本 孟志

基本方針
持続可能な組織となるべく、会員一人ひとりの成長を促すと共に、組織の魅力を発信し、全会員を巻き込み、会員拡大に繋げる。

委員長方針

現在、大垣青年会議所では、会員数の減少や在籍年数の短期化に伴う課題を抱えており、今後も持続可能な組織としてあり続けるためには、継続した会員拡大が必要となります。  
 単年度制の青年会議所の事業の中で、唯一の継続事業とも言える会員拡大は、全会員が一丸となって取り組むことは勿論ですが、変わりゆく時代に沿って、これからの地域を担う人財が青年会議所に何を求めているかを考え、大垣青年会議所の魅力を発信すると共に、継続的な会員拡大を行うために、様々なパートナーと連携し、新たな手法を取り入れていく必要があると考えます。また、会員一人ひとりが大垣青年会議所に誇りをもって活動、運動を行い、地域を担う人財に対して我々の想いを伝播させることで、会員拡大に繋げていくことができると考えます。  
 組織力創造委員会では、持続可能な組織を目指し、会員の先頭に立って会員拡大に取り組んで参ります。

<事業計画及び予算>

- 事業名 3月度例会の企画・運営

目的 様々なパートナーと連携し、西美濃地域や大垣青年会議所の魅力を発信することで、これからの地域を担う人財に共感を与え、共に成長する機会を提供する。

予定と方法 (1) 3月  
(2) 種別・公益事業(公1)

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	1,100,000	一般会計	1,100,000
合計	1,100,000	合計	1,100,000
- 事業名 5月度例会の企画・運営

目的 会員一人ひとりが成長し、魅力ある人財が集う組織となることで、会員拡大に繋げる。

予定と方法 (1) 5月  
(2) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	300,000	一般会計	300,000
合計	300,000	合計	300,000
- 事業名 正会員及び賛助会員の募集

目的 全会員で、西美濃地域の次代を担う人財を発掘し、募集することで持続可能な組織へと繋げる。

予定と方法 (1) 正会員の募集(1月～7月)  
(2) 賛助会員の募集(1月～12月)  
(3) 正会員及び賛助会員の募集の窓口  
(4) 会員拡大実行委員会との連携  
(5) 新入会員候補者のオブザーブ参加(2月～7月)  
(6) HPへの会員募集の掲載  
(7) SNSへの活動・運動内容の投稿  
(8) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	100,000	一般会計	100,000
合計	100,000	合計	100,000

4. 事業名 新入会員予定者及び賛助会員予定者の指導及び資格審査
- 目的 大垣青年会議所の目的や歴史を伝えることで、大垣青年会議所の活動や運動に共感し、共に成長し合える人財となってもらえるよう指導し、適正を審査する。
- 予定と方法 (1) 7月～12月  
(2) 新入会員予定者の資格審査(7月)  
(3) 新入会員予定者オリエンテーション開催(7月)  
(4) 新入会員予定者の参加対象事業への参加推進及び指導(8月～12月)  
(5) 賛助会員予定者の指導(随時)  
(6) 新入会員予定者及び賛助会員予定者の最終適正審査(12月)  
(7) 新年互礼会に向けた指導(8月～12月)  
(8) 種別・その他の事業
- 予算
- | <支出の部> |        | <収入の部> |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 事業費    | 50,000 | 一般会計   | 50,000 |
| 合計     | 50,000 | 合計     | 50,000 |
5. 事業名 SDGsの推進
- 予定と方法 (1) その他
6. 事業名 各委員会との連携
- 予定と方法 (1) その他

西美濃連携推進委員会 年間事業計画

担当 委員会	まちづくり 西美濃連携推進委員会
委員長	水谷 仁哉
副委員長	大杉 徹
委員	石川 貴之 谷口 太泉 森 大地

基本方針
地域住民の防災への意識と主体性の育成を行うと共に、西美濃地域の連携を推進し、住み続けられるまちづくりの実現を目指す。

委員長方針

昨今、異常気象による豪雨災害、土砂災害が全国各地で多発しており、地域住民の生命や生活が脅かされています。この西美濃地域に関しても、有事の際には甚大な被害が想定されますが、被害を最小限に抑えるためには住民自身が被災時の想定をし、対処するための行動を把握することが必要となります。

この社会課題を解決するためには、西美濃地域が連携して災害に対する危機感を持ち、防災に対する意識と主体性を高く持つ人財の育成を行い、自助から共助へと繋げていくことが重要であると考えます。

西美濃連携推進委員会では、地域住民の防災に対する意識と主体性の育成を行うと共に、西美濃地域の連携を推進することで、住み続けられるまちづくりの実現を目指します。

<事業計画及び予算>

- 事業名 6月度例会の企画・運営

目的 地域住民と共に防災を学び、防災への意識と主体性を持つ人財の育成を行うことで自助から共助へと繋げ、西美濃地域の発展に寄与する。

予定と方法 (1) 6月  
(2) 種別・公益事業(公2)  
(3) 短期ビジョン該当項目:災害を見据えた広域連携に向けた取り組み

予 算	<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	600,000	一般会計	600,000
	合計	600,000	合計	600,000
- 事業名 9月度例会の運営

目的 広域連携事業に参加・協力し、西美濃地域の連携を推進する。

予定と方法 (1) 9月  
(2) ツール・ド・西美濃2023への参加・協力
- 事業名 西美濃の多彩な情報発信による地域活性化に向けた事業

目的 官民一体による西美濃地域の活性化に寄与する。

予定と方法 (1) ツール・ド・西美濃実行委員会との連携  
(2) ツール・ド・西美濃実行委員会及び本部会への参画  
(3) ツール・ド・西美濃2023開催準備への参加・協力
- 事業名 真の民主主義社会の推進に関する事業

目的 地域住民が各々の意思を発信できる機会を知ることで、住民主体のまちづくりの推進の一助とする。

予定と方法 (1) 岐阜ブロック協議会との連携
- 事業名 SDGsの推進

予定と方法 (1) その他
- 事業名 各委員会との連携

予定と方法 (1) その他

渉外委員会 年間事業計画

担当 委員会	情報交流 渉外委員会
委員長	星野 恵里
副委員長	新井 貢
委員	栗田 裕介
	佐々木 掌子

基本方針
客観的な視点と歴史を学ぶ機会を提供すると共に、LOMを越えた友情の架け橋となり、会員の成長と組織力の向上に寄与する。

委員長方針

大垣青年会議所の魅力の1つは、青年会議所を通じたネットワークと西美濃地域関係各諸団体とのネットワークを持っていることです。出向を経験することや対外交流事業に積極的に参加することは、より多くの人脈や成長の機会を得ることができる大きな可能性を秘めています。しかしながら近年は様々な事業が中止やハイブリッド開催となり、以前のように事業の重要性を肌で感じる機会が減少しています。本年度の渉外委員会は、リアル参加とWEB参加の長所を理解し、国内外の青年会議所や西美濃地域関係各諸団体との交流を通じた広く客観的な視点と正しい歴史を学ぶ機会を提供すると共に、出向者と連携して対外交流事業への参加を推進し、会員一人ひとりの成長を促すことで、組織力の向上に尽力します。

また、HPやSNSを正確に管理し迅速に発信することで、ステークホルダーと友好な関係を築く一助とし、大垣青年会議所の認知度の向上に努めます。

<事業計画及び予算>

- 事業名 2月度例会の企画・運営

目的 青年会議所の歴史を再認識すると共に、誇りを持ち青年会議所の活動や運動を次代に繋げる契機とする。

予定と方法 (1) 2月  
(2) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	100,000	一般会計	100,000
合計	100,000	合計	100,000
- 事業名 8月度例会の運営

目的 地域住民に親しまれている大垣市青年のつどい協議会の事業に参加・協力し、地域愛の醸成をはかる。

予定と方法 (1) 8月  
(2) 第39回水門川万灯流しへの参加・協力
- 事業名 10月度例会の運営

目的 大垣市青年のつどい協議会の事業に参加・協力することで、関係各諸団体と親睦を深め、地域の活力を高める。

予定と方法 (1) 10月  
(2) 第48回十万石ふるさとまつりへの参加・協力
- 事業名 広報管理に関する事業

目的 対内及び対外へ向けて大垣青年会議所の情報を迅速に発信し、より多くの人に我々の運動を伝え、ステークホルダーと友好な関係を築く一助とする。

予定と方法 (1) HPの管理・運営  
(2) WEB媒体、SNSを利用した情報の発信  
(3) 機関誌の発行  
(4) 種別・その他の事業

予算

<支出の部>		<収入の部>	
事業費	100,000	一般会計	100,000
合計	100,000	合計	100,000

5. 事業名 西美濃地域関係各諸団体との窓口及び協力
- 目的 西美濃地域関係各諸団体との窓口として、出向者を支援すると共に互いの事業への参加を促進し、協力関係を強固にする。
- 予定と方法 (1) 西美濃地域関係各諸団体の各種事業の発信及び参加・協力の依頼  
(2) 西美濃地域関係各諸団体との協働  
(3) 西美濃地域関係各諸団体への出向者の支援  
(4) 西美濃地域関係各諸団体に対する大垣青年会議所事業への参加・協力の依頼
6. 事業名 JCI、JCI日本の事業の窓口及び参加推進
- 目的 JCI、JCI日本の事業の窓口として出向者を支援すると共に、出向者と連携して事業への参加を推進し、会員の成長を促す。
- 予定と方法 (1) JCI日本 京都会議(1月) 京都  
(2) 岐阜BC 岐阜会議(2月) 岐阜  
(3) JCI ASPAC (5月) インドネシア/ジャカルタ  
(4) JCI日本 サマーコンファレンス(7月) 横浜  
(5) 東海DC 東海フォーラム(7月) 静岡  
(6) 岐阜BC 岐阜ブロック大会(9月) 可児  
(7) JCI日本 全国大会(10月) 東京  
(8) JCI JCI世界会議(11月) スイス/チューリッヒ  
(9) 岐阜BC 第57回岐阜ブロックじゃがいも大会  
(10) その他
7. 事業名 花蓮國際青年商會との交流に関する事業
- 目的 花蓮國際青年商會とより良い友好関係を築くことで、国際的視野を持つ人財の育成に寄与する。
- 予定と方法 (1) 花蓮國際青年商會との交流の窓口  
(2) 報告書の作成
8. 事業名 他LOMとの交流
- 目的 他LOMと交流し情報を共有することで、互いに高め合いながらより良い友好関係を築く。
- 予定と方法 (1) JCI鹿児島との防災ネットワークに関する協定の更新(1月)  
(2) JCI各務原との交流事業
9. 事業名 趣味の会の窓口
- 目的 趣味の会への参加を促進し、会員の相互理解を深めることで、組織力向上の一助とする。
- 予定と方法 (1) 趣味の会の募集・登録窓口
10. 事業名 SDGsの推進
- 予定と方法 (1) その他
11. 事業名 各委員会との連携
- 予定と方法 (1) その他

総務委員会 年間事業計画

担当 委員会	事務局 総務委員会
委員長	中島 寿起
副委員長	太田 克洋
委員	川瀬 弘樹
	西本 匡良
	・ 水森 等紀
	・ 園田 涼平
	・ 細野 晃大

基本方針
会員一人ひとりが、青年会議所の活動や運動に邁進できるように、正確かつ円滑な組織運営を行う。

委員長方針

大垣青年会議所が、創立以来、明るい豊かな社会の実現を目指して歩み続けてこられたのは、大垣青年会議所の理念と目的の下、先達の伝統や精神が絶えず継承されてきたからであると考えます。  
 新型コロナウイルス感染症の影響で、社会の様相は大きく変わりました。対面形式が常識であった青年会議所の活動や運動も、WEBの利用が増え、新しい手法を学ぶ機会を得ました。しかし、どのような変化が起ころうとも青年会議所における会議の重要性は変わりません。会議は全ての事業の原点であり、多様な価値観によって事業の質を高めると共に、青年会議所の伝統や精神を学ぶ場でもあると考えます。  
 会員一人ひとりが、青年会議所の活動や運動に邁進し、大垣青年会議所の伝統や精神を次代に継承できるように、その下支えとして、いかなる時代の変化があろうとも、問題の本質を見抜き、冷静に、正確かつ円滑な組織運営を行っていきます。

<事業計画及び予算>

- 事業名 1月度例会の企画・運営

目的 2023年度の方角性を理解し、大垣青年会議所の理念と目的を再確認することで、今年度の活動と運動への意欲を高めると共に、これを対外的に発信する場とする。

予定と方法 (1) 1月  
(2) 新年互礼会  
(3) 種別・その他の事業

予算	<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	200,000	一般会計	200,000
	合計	200,000	合計	200,000
- 事業名 12月度例会の企画・運営

目的 卒業生に感謝と労いの気持ちを伝え、卒業生から伝統や精神を継承すると共に、次代へ繋げる場とする。

予定と方法 (1) 12月  
(2) 卒業生を送る会  
(3) 種別・その他の事業

予算	<支出の部>		<収入の部>	
	事業費	100,000	一般会計	100,000
	合計	100,000	合計	100,000
- 事業名 通常総会及び臨時総会の設営・運営

目的 正確かつ円滑に総会の運営を行う。

予定と方法 (1) 通常総会(1月)及び臨時総会の設営・運営  
(2) 議事録の作成
- 事業名 理事会運営に関する事業

目的 各委員会との連携を密に行い、正確かつ円滑な理事会の運営を行う。

予定と方法 (1) 理事会の準備及び設営  
(2) 議事録の作成  
(3) 理事会資料の配信及び厳格な資料の確認  
(4) マニュアルに基づく議案上程の周知
- 事業名 基本資料・定款及び会員名簿の作成と管理に関する事業



	目的	2023年度の大垣青年会議所の情報を資料として正確にまとめることで、円滑な活動の一助とする。
	予定と方法	(1) 基本資料の作成・会員名簿の作成 (2) 定款及び運営規則の管理
6.	事業名	大垣青年会議所の運営全般に関する事業
	目的	活発な青年会議所活動・運動を会員が行えるよう、正確かつ円滑な組織運営を行う。
	予定と方法	(1) 例会及び事業等の配布物準備 (2) 各事業及び各委員会の出欠席の管理 (3) 事務局の管理・運営 (4) 弔事に関する運営 (5) 定款・運営規則等の規定の精査・改正 (6) メールリストの構築・管理 (7) 情報公開に関する管理 (8) その他
7.	事業名	情報管理のための事業
	目的	活動・運動記録を管理することで、大垣青年会議所の歩みを次代へ繋げる。
	予定と方法	(1) 各事業記録の整理・保管 (2) 各事業写真の保管 (3) 議案書の保管 (4) 事業活動アルバム(DVD)の作成及び関連記事の整理
8.	事業名	公益法人格制度に関する運営・手続
	目的	公益法人格の意義を深く理解し、正確な運営を行う。
	予定と方法	(1) 公益法人格取得団体としての運営・手続
9.	事業名	財務管理に関する事業
	目的	厳正な財務管理、資産管理のもと、各委員会と連携し正確な組織運営を行う。
	予定と方法	(1) 一般会計、基金会計、特別会計の管理 (2) 基金運用計画に基づく資金管理 (3) 予算立案に伴う業務 (4) 予算、決算及び各事業の変更に伴う業務 (5) 中間決算及び年度末決算 (6) 預り金の管理
10.	事業名	SDGsの推進
	予定と方法	(1) その他
11.	事業名	各委員会との連携
	予定と方法	(1) その他